



KONICA MINOLTA

HONDA



Driver Stand 2りんかん



Commercialbank GRAND PRIX OF QATAR

2007年 MotoGP 世界選手権シリーズ 開幕戦

ロサイル(カタール)[3月10日(土) 決勝 天気 晴れ]

#56 中野真矢 [予選11位 決勝10位 総合ランキング10位]

移籍してからテストを重ねてきて、完璧とは言えないが、まずまずの状態で開催戦のカタールGPを迎えた。

初日、2日目とまずまずの順位までは行くのだが、やはりテストの時と同じでもう一つ順位が伸びず、そして、予選セッションでは転倒もしてしまい、11番手からのスタートとなった。

悪いときは悪いなりに、次のレースに繋げるために何かを学ばなくてはと思い決勝をスタートしたのだが、11番手から他のライダーとバトルをしながら走行しながらも、途中でなかなかペースが上げられず苦しい展開となった。

最終的には10位でゴールとなったが、7位くらいまでは見えていたので最低でもその辺りではゴールしたかった。

しかし、レースウィーク中いろいろと学ぶところもあったし、決勝レースを終えているいろいろと得たものもあるので、次のヘレスGPは壁を一つ乗り越えられるように頑張りたい。



ジャンルカ・モンティロン (コニカミノルタホンダチーム 監督)



やはり、今日の結果は残念だね。

しかし、よく言えば新しいマシン、タイヤについて得るものがあつたレースだったと思う。

真矢にとっては、ウインターテストでのレースシュミレーションで何度もやったように、レース後半のタイヤが減り、燃料が少なくなった状態でのフィーリングに慣れることが重要だった。

我々はこの最初のレースの結果を分析し、真矢がトップで戦えるように、ホンダ、HRC、そしてミシュランみんなできれいに取り組んでいく。それが今、我々のすべきことだ。だからみんな次のヘレスGPを楽しみにしているよ。